

# 打鐘会レポート

NEWS | 2022年6月10日

遡ること約3か月前、2022年3月17日。春のあたたかな陽気の中当社取締役の3人が出掛けたのは、兜町にある東京証券取引所。株式上場から実に1年以上経過してからの念願の打鐘の時がきました。最初の上場予定日から数えると約2年の歳月が経過してからの打鐘セレモニー。記念すべき瞬間をこの場を借りてレポートするとともに、コロナ禍での株式上場の実情や上場を目指した理由を遡ってお伝えします。



## ■ セレモニー当日の様子

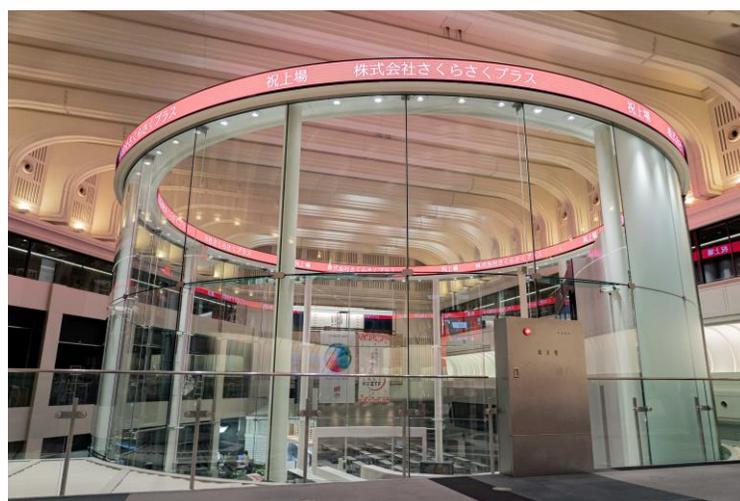
本来であれば東京証券取引所に上場した取引初日に、華々しく、大勢の社員や関係者の皆様に見守られながら行われるものですが、コロナ禍により当日の参加可能人数は最大5名、時間も15分のみ。ソーシャルディスタンスを保った状態でのセレモニーでした。

式典への参加は当社代表取締役社長の西尾、取締役副社長の中山、取締役専務の森田と、記念すべきこの瞬間をあらゆる媒体に納めるための社員が2名。計5名の参加となりました。

東証アローズ内の会場はセレモニー仕様になっており、チャッカーには「祝上場 株式会社さくらさくプラス」の文字が流れ、改めて嬉しさを感じることができました！



ソーシャルディスタンスを保った会場



チャッカーにはお祝いの文字が！

打鐘は、「五穀豊穡」にあやかり、企業の今後の繁栄を願い5回鐘を鳴らします。この日まで、当社の応接室にて出番を待っていた社名入りの上場記念品の木槌がようやく日の目を迎えます。

先ず最初の2打を西尾が叩きます。上場までの厳しい審査の続く緊張の日々や新型コロナウイルスの蔓延という不可抗力での上場延期によるもどかしさや悔しさ、それを乗り越え上場を果たした時の喜び、そんな想いが甦ります。



中山、森田と続いて打鐘をしました。こうして無事、念願だったセレモニーは終了しました。

## ■上場までの歩み

2019年の12月、中国の武漢で新型コロナウイルスが流行し始めたその頃、当社は上場前の調整段階に入っていました。2020年の3月に上場承認を受け、目指すは4月24日。上場予定日を目前に控える中、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出や市場への影響が高まり、上場の延期を決断せざるを得ない状況になりました。次のチャンスは10月、未知のウィルスの出現で全く先が見えない状況下、再度上場にチャレンジする決断を下しました。緊急事態宣言は解除されたものの、そこからの世の中は一変し、保育現場での緊迫した日々は続きました。そんな中迎えた2020年10月、当社は東証マザーズ市場に無事新規上場しました。暗い話題の続く世の中での明るいニュースではあったものの、世間の状況を鑑み、打鐘のセレモニーも社内セレモニーも行うことができずひっそりとその日を迎えました。市場は乱高下していた状況下、それでも諦めず上場を目指したその理由とは・・・

## ■安定しないコロナ禍の市場、それでも上場を目指した理由

一つ目は、創業時からの「働く子育て世帯を支えたい」という想い。

創業は2009年、当時不動産会社に勤務していた西尾は、育児休暇取得後に保育所に子どもを預けられず職場復帰できない女性たちを目にしてきました。「働く意思のある優秀な女性は多くいるのに、社会の仕組みによって仕事ができない」

という問題があることを知りました。「足りないなら自分たちで保育所を作ろう！そして女性の社会進出を応援しよう」と前身の「株式会社ブロッサム」を創業、「さくらさくほいくえん（当時の名称）」がスタートしました。時代と共に子どもを取り巻く環境は変化し続けています。女性の社会進出や核家族化、地域との関係性の希薄化などからより多くの人を巻きこみ、社会全体で子どもを育てていく必要性が加速しています。保育や子育て環境により注目を集め世の中が今よりも更に子育てに寛容になり、子どもを産み・育てやすい社会を作り出すことを使命としています。

保育はAIには変われない人にしかできない仕事であり、共働き世帯が多い現代において保育所はインフラとなりつつあり、そして保育士はこのコロナ禍においてエッセンシャルワーカーであることが明確になりました。それだけ重要な仕事でありながらも、保育の仕事への理解や実態はまだ世の中に浸透しておらず、教員ほどの処遇もないのが現実です。保育所の現状や保育の仕事の重要性を広め、より社会から注目を集めることが上場を目指したの二つ目の理由。コロナ禍において、先の見えない不安と戦いながらも日々子どもたちの成長を見守る現場の実情が、より「保育の仕事在世の中に広めたい」という想いを加速させました。

これらの理由により、世の中を巻き込み多くの人々の関心を集めるために、当社を選んだ道が株式上場でした。

当社は2022年8月に創立5周年を迎えます。  
今後も多くの方のご支援を頂きながら、  
子どもや子育て世帯が安心して過ごせる環境を  
つくれるよう邁進してまいります。

<当日のダイジェスト動画>

<https://youtu.be/XH9iwfJWJ7Y>



左：森田 中央：西尾 右：中山

#### ■企業概要

会社名：株式会社さくらさくプラス

証券コード：7097

代表取締役：西尾 義隆

設立：2017年8月 資本金：548,775,930 円（2021年7月末時点）

本社所在地：東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル8階

企業URL：<https://www.sakurasakuplus.jp/>

当社グループは、子会社の株式会社さくらさくみらいが運営する保育園「さくらさくみらい」を中軸に子ども・子育て支援事業を展開しています。「さくらさく」という言葉から連想される、子どもたちの成長が花開くよるこびやうれしさをともに、親、子、園の三者が笑顔に包まれた中で共有できる姿を実現することが最も重要と考え、事業に取り組んでいます。

= 本件に関するお問い合わせ =

株式会社さくらさくプラス PR担当：徳永

TEL 03-5860-9539 / お問い合わせ [www.sakurasakuplus.jp/contact](http://www.sakurasakuplus.jp/contact)